

私たち労働者の声を届けたい

サイカパーキング大阪労働組合

執行委員長 西川 正治さん
書記長 峠 響至高さん



サイカパーキング大阪労働組合執行部の皆さん。
後列左から2人目が西川委員長、前列左が峠書記長

昨年11月6日に結成し、新たに大阪自治労連の仲間になった「サイカパーキング大阪労働組合」の西川委員長と峠書記長にお話を聞きました。会社から一方的な労働条件の不利益変更が行われたことを機に労働組合を結成し、現在交渉を行っています。

やっぱり労働組合が必要

サイカパーキング大阪は、大阪府内の公的施設及び大阪市の指定管理者として、市内の駅前などの駐輪場の管理業務をしており、600人近くの職員が「管理員」として働いています。

しかし、会社の一方的な就労時間の削減や機械化による一人勤務など、労働条件の改悪でやめていった人も多く、職員が半減。このままでは、使用者に迷惑をかけるだけでなく、管理者である自分たちの立場も危ないと感じ、労働組合の知り合いに相談しました。その後、仲間へ声をかけ

学習会などを行うなかで労働組合の必要性を学び、また多くの仲間と話し合う機会を持つことができたと言います。

仲間とともに長く働き続けたい

労働組合での活動を通して、たくさんの方の仲間と出会い「仲間のために労働環境を良くしたい」「一日でも長く働き続けたい」という思いを強く持ったと言います。

会社との交渉では、初めてのことで戸惑うこともあったとのことですが、自分の思いを直接伝えることができる場として、今は大切な場になっています。「あきらめず、一致団結して話



し合いを続けていきたい」と決意を語ってくれました。
昨年12月22日の大阪自治労連23春闘スタート集会で、のぼりが贈呈されました

「人生の先輩」として生き方を問いかける

定年を迎えてから働いている組合員が多いサイカパーキング大阪労働組合の皆さん。若い人には「誠実に」「努力を怠らず」「人の痛みの理解できる」そんな人になってほしいと語る2人です。
年齢を重ねても仲間のために労働組合をつくり、会社へ思いを伝えたかう姿を見習いたいと感じまし

つくる心ひとつに

3月3日に「#たつみコートローとつくる rainbow talk live」がエル・シアターのメイン会場と、東大阪市や堺市などのサテライト会場を結んで開催されました。またYouTubeでライブ配信し、この日、参加者は全体で1500人を超えました。いのちと暮らし最優先の大阪をつくろうと、会場がひとつになりました。



参加者の激励に応える、たつみコートローさん（3月3日エル・シアター）

たつみコートローさん 熱い訴え「カジノ計画撤回 公共を取り戻す」



それぞれの願いを託して...
リレートークのみなさん（同会場）



おおさか自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合)

2023年3月15日

No.391
(部内資料)

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／有田 洋明 編集人／尾崎 一美
毎月15日発行（1部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。